

平成25年度 横浜市立樽町中学校 学校評価報告書

共通取組 重点取組	平成25年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな学力	○授業を工夫し、一人ひとりの基礎学力の定着をめざす ○自己実現に向けて、将来を見通す力を育てる ○朝読書や朝自習で、読解力や基礎の定着を図る	授業評価を行うことにより授業改善の大切さを改めて認識できた。 朝読書の取り組みにより読書への意欲が高まった。	A B C D
2 豊かな心	○豊かな体験活動を通し、人とかかわりを大切にし、違いを認め、思いやりある生徒の育成をめざす	校外外でのボランティア活動への積極的参加を促し、人とかかわり方について学ぶ機会を作り、心の成長を促した。	A B C D
3 健やかな体	○健全な心身の育成を育み、全職員で部活動の推進に取り組む ○自ら考え、思考・判断して進んで運動に取り組む姿勢を養う	体育祭では、青少年指導員、スポーツ推進委員等、地域の協力もあり、教員・保護者・地域全体でこどもの成長を支援していく土台が構築に努めた。	A B C D
4 教育課程 学習指導	○小中連携を重んじ、小中一貫カリキュラム編成に向けた取り組みを行い、小中合同の教科別研修会を年2回行う ○新学習指導要領の完全実施に伴い、教科会の活性化、教科内の研究授業を実施、効果的・効率的な授業を目指す	昨年同様、9教科に分かれて教科ごとの研究協議を行った。英語科では小学校と連携したTTに取り組んだ。	A B C D
5 児童生徒 指導	○一人ひとりが安心して学校生活を過ごせるよう生徒理解に努める。教育相談活動を年3回実施する ○毎週月曜日に学年間の情報交換の場を持つ ○生徒指導研修会を年3回行い、教師力を高める	日常的に起こる課題に対し、初期対応がスムーズでない面が見受けられた。 受動的な対応から積極的な戦略をもった取組への意識改革に課題が見受けられた。	A B C D
6 教職員の 研究・研修	○各教科年間1回以上、研究授業を実施する ○国・市・区の情報は職員会議を通し、「校長室より」にて情報共有する ○道徳・学活の研究授業を年間1回以上行い授業力を高める	個々の教師の授業力向上を目指し、研究授業と研究協議の実施に努めた。 地域、保護者へ授業を公開し指導主事より講評をいただくことにより、授業改善への意識づけとなった。	A B C D
7 地域連携	○オープンスクールを年間5回以上実施し、地域・保護者が学校に気軽に足を運べるようにする ○学校HPを適宜更新する。また「たるまちだより」を発行し、学校の情報発信に努める	計画通りに情報発信ができ、開かれた学校づくりに取り組んだ。 定期的な発行に課題が残った。	A B C D
8 人材育成 組織運営	○経験の多い教員が日頃から範を見せ、育成という視点で生徒指導・教科指導等の指導、助言を行う ○人間関係を豊かにし、意見交換が活発にできる風通しのよい職員体制を作る ○コミュニケーションとチームワークを大切に、組織運営の活性化を図る	3年目までの教員と臨任・非常勤講師でグループをつくり、月に1度、デスクッションを実施した メンターチームによる体育祭、文化祭でのパフォーマンスの企画立案を行う中で職場のコミュニケーション向上に努めた。	A B C D
小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果	小中合同の研修会を年2回行ったが、研究授業の形態、行事の調整等に課題が残った。 小学生の授業参観・部活動体験、生徒会による中学校説明会では、時間の調整に苦慮するところはあるが、生徒の積極的な交流を推進していく上で意義のある活動となった。		
学校関係者 評価結果	学校施設や環境的には恵まれていないが、地域と連携を図りおおむね充実した教育活動に取り組んでいる。 今後、さらに地域力の向上を図ると共に、地域に根ざした学校づくりに励むよう助言をいただいた。日々の学校の教育活動については、ほぼ理解していただいていることが確認できた。		
評価結果に 対する 学校の見解	小中合同の研究授業・研修会を全教職員が参加できる体制を構築できるよう具体的な改善を図っていく。 次年度も学校経営方針や教育活動の積極的な発信(学校だより、HP等)に努めていく。 学校・家庭・地域連携事業(健全育成委員会)の積極的な取組をさらに推進していく。		
学校経営 中期目標 達成状況	・オープンスクール、小中合同の研究授業、地域・保護者に向けた授業公開と年間を通して実施することで教職員の意識がより高まってきた。今後さらに生徒一人を大切にしたいきめ細かな指導に努め、基礎学力の向上を図っていく。 ・保護者、地域との連携、小中との連携をより一層強化していき、地域に根ざした学校、生徒一人ひとりが互いの違いを認め合い、自覚と責任をもって行動できる生徒の育成に努めていきたい。		